

感染症発生状況

平成30年11月21日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成30年11月12日（月）～11月16日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,716名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】407名 【職員】10名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】81名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数81名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（209名）、下痢・腹痛（50名）、咳・鼻水（49名）、充血（12名）

疾病別：溶連菌感染症（23名）、胃腸炎（20名）、気管支炎・肺炎（10名）、流行性角結膜炎（9名）、手足口病（9名）

【職員】症状：下痢・腹痛（4名）、熱（3名）、充血（2名）、嘔気・嘔吐（1名）

RSウイルス感染症、とびひ、手足口病、リンゴ病、溶連菌感染症、水痘など種々混在しての流行です。インフルエンザはこの調査上はありませんが、盛岡市内のある学区で流行しています。

職員の感染症に御留意下さい。

【症状別の発生状況】

溶連菌感染症 河南地域で減少。厨川、河北、盛南、都南地域で増加しました。

胃腸炎 厨川、河南、都南地域で減少。河北、盛南地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山、河北、河南、都南地域で減少。盛南地域で増加しました。

流行性角結膜炎 都南地域で減少。厨川、河南地域で増加しました。

手足口病 厨川、河南地域で減少。河北、盛南、都南地域で増加しました。

【県の状況（11/5～11/11）】

咽頭結膜熱は、宮古地区で警報値（定点あたり患者数3人）を超えています。2003年以降は、冬季にも流行のピークが明確にみられるようになりましたが、今年は早い時期から増加しています。予防には、うがいや石けんと流水による手洗いが重要です。

感染性胃腸炎は奥州及び大船渡地区で多くなっています。例年秋から冬にかけて、ノロウイルス等による集団感染が増加するので注意が必要です。予防には、手洗いと、患者の吐物や便の適切な処理が重要です。

インフルエンザは、盛岡市、二戸及び一関地区で報告がありました。今後の動向に注意が必要です。予防には、ワクチン接種や体調管理、こまめな手洗いが重要です。ワクチンは接種から効果が現れるまでに2週間程度かかるため、早めの接種が勧められます。接種については、事前に医療機関へご確認ください。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】